

松沢小 説明的な文章年間計画・言語活動例

学年	単元名・教材名	指導事項	言語活動例(R2年度)	言語活動例(R3年度)
3年	段落とその中心を捉える 「言葉で遊ぼう/こまを楽しむ」	○文章は、「初め」「中」「終わり」などの大きなまとまりに分けられる。 大きなまとまりは、一つ、または幾つかの段落でできている。 ○一つの段落には、それぞれ、ひとまとまりの内容が書かれている。 ○「問い合わせ」と「答え」に気をつけると、文章全体の組み立てや、段落の中心を捉えることができる。	「遊んでみたいこまと、その理由を書こう」 読み取ったことから遊んでみたいこまについて理由を話す。	「遊んでみたいこまと、その理由を書こう」 一番遊んでみたいコマについてまとめ、友達と交流する。
	《生活の中で読もう》 ポスターの読み方 「ポスターを読もう」	○ポスターを見るときには、言葉と写真や絵の関わりに気をつけて、内容を捉える。 ○ポスターが作られた目的や、知らせたい相手を考える。		「スーパーマーケットのポスターを作ろう」 学んだことを生かし、スーパーマーケットの工夫が伝わるポスターを書く。
	れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう 「すがたをかえる大豆」 「食べ物のひみつを教えます」	○題名や「初め」から、話題を確かめる。 ○「中」の例と話題とのつながりを捉え、それぞれの段落の役割を考える。 ○例を挙げる順序や写真の使い方など、筆者の例の書き方に気をつける。	「すがたをかえる〇〇の説明文を書こう」 事例の書き表し方を工夫し、食材について説明する文章を書く。	「すがたをかえる〇〇の紹介文を書こう」 例の書かれ方に気を付けて読み、それを生かして書く。
	説明する文章を読んで、感想を伝え合う 「ありの行列」	○説明する文章を読むときには、次のことを見つけながら読むといい。 ○初めて知って驚いたこと ○もっと知りたいと思ったこと ○読んだ感想を伝え合うときには、自分の考えと同じところや違うところに着目して聞く。	「読んで感想をもち、つたえ合おう」 これまでの学習を生かして感想を書き、伝え合う。	「読んだ感想を伝え合おう」 文章を読んで、感じたことをまとめ、友達と伝え合う。
4年	筆者の考えを捉えて自分の考えを発表しよう 【思いやりのデザイン/アップとルーズで伝える】	○考えを述べた文章では、文章の初めと終わりの両方で、考えを繰り返し述べていることが多い。 ○どのような具体例を挙げて考えを述べているかなど、段落どうしの関係を確かめ、筆者の考えを捉える。	「自分の考えを伝え合おう」 「アップとルーズで伝える」ということについて、考えたことを発表する。	「筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう」アップとルーズの写真をどのように生かすか考え伝える。
	<生活の中で読もう> パンフレットの読み方 【パンフレットを読もう】	○パンフレットを読むときには、知りたいことに合わせて、どこを読めばいいかを考える。 ○パンフレットが作られた目的や、伝えたい相手を踏まえて読む	「水のゆくえのパンフレットを読もう」 パンフレットを実際に読みながら知りたいことに合わせて必要な箇所にサイドラインを引き、情報を集める。	
	要約する 【世界にはこる和紙】	○まとまりごとに、中心となる語や文を確かめる。 ○分量を考えて、元の文章の組み立てをいかしたり、自分の言葉を用いたりして、短くまとめる。	「日本の伝統工芸のよさを伝えよう」 伝統工芸に関する本を選んで読み、よさが書かれている所を中心に要約する。	「日本の伝統工芸のよさを伝えるリーフレットを作ろう」 自分が選んだ伝統工芸のよさについて文章を書き、ロイロノートで写真をつけてまとめること。
	感じ方の違いに気付き、良さを見つける 【ウナギのなぞを追って】	○読んだ文章に対する感想や考えには、その人が文章をどう受け止めたり、理解したりしたかが表れている。 ○自分とは違う感想や考えに出会ったら、違いはどこから来ているのか、他の人の感じ方の良さは何かを考えると、読んだ文章への理解が深まる。	「紹介文を書こう」 自分の興味の中心に沿って、文章を要約し、紹介文を書く。	「紹介文を書こう」 自分の興味の中心に沿って、文章を要約し、紹介文を書く。